

## 「がん進展制御研究所セミナー」を開催

2017年8月10日

8月10日（木）に、金沢大学がん進展制御研究所4F会議室において、ミシガン大学歯学部教授の三品裕司先生をお招きしてセミナーを開催しました。

「骨形成因子（BMP）シグナルと顔面形成」のタイトルで、顔面を構成する頭骨の成長を制御する BMP シグナルに関して、*in vivo* モデルの研究結果を中心に最新の話題を提供して頂きました。とくに、*suture* と呼ばれる骨形成点における骨芽細胞の分化増殖の繊細な制御機構について、とても興味深く講演をして頂き、生物学や発生学の面白さをあらためて感じた人も多かったと思います。セミナーには研究所内外の教員、博士研究員をはじめ、大学院生など 30名が参加し、活発な質問がいつまでも続きました。

(腫瘍遺伝学 大島)



# 骨形成因子(BMP)シグナルと顔面形成 ～神経提細胞の生存と分化への役割～

講演者：ミシガン大学歯学部生物科学材料学科  
遺伝発生学研究室  
教授

三品 裕司先生

変更！

日時：平成29年8月10日(木) 16:00～17:00

場所：金沢大学がん進展制御研究所 4F 会議室

三品先生は、1992年から米国で長くBMPの研究を一貫して続けられています。とくに、遺伝子改変マウスを利用して初期胚での体軸決定や形態形成におけるBMPの役割について幅広く研究を進められています。最近、BMPシグナルを神経堤細胞特異的に発現上昇させると、分化決定の異常による、顔面形成異常が見られる事を発見しました。

今回は、米国での研究室の経験談とBMPに関する研究成果について、幅広くご講演していただきます。

皆様ふるってご参加下さい。